

環境プロデュース総合企業
環境事業の未来をつくる
京グループ
KYO GROUP
0へ
を果たします



発行所
60in plus 2
日報ビジネス株式会社
Vision Vitality Victory
(東京) 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3-1-5
電話03(3262)3488 FAX03(5214)6633
(大阪) 〒541-0054 大阪市中央区南本町1-5-11
電話06(6262)2406 FAX06(6262)2090

週刊
月曜発行

週刊 **循環経済新聞**
The Recycling Economy Times

第3部

電子契約なら
JEMSにお任せを!
弁護士ドットコム × 環境將軍
JEMS 環境得草 0120-857-493 JEMS

(第3種郵便物承認)

食品リサイクル事例 東日本

静岡県藤枝市

バイオガス化で3社と連携

実績ある技術やノウハウを活用

全国で数少ない、下目。市は浄化センター
水汚泥と家庭から出る下水汚泥を利用した
生ごみによるバイオガス発電を行っ
ス発電に取り組むたており、関連技術で実
績のある事業者と連携
め、静岡県藤枝市はア
ーキアエナジー、月島
ーキアエナジー、月島
機械、チューサイマネ
ことになった。

縮結式であいさつし
19年11月、連携協定
を締結した。生ごみの
分別回収やバイオガス
発電などで実績がある
事業者の技術やノウハ
ウを活用する。既設の
下水処理場を利用、家
庭系生ごみ処理に特化
した行政と事業者との
連携は国内初という。
と述べた。

市は11年度から家庭
から出る生ごみの回収
・資源化を推進。19年
4月時点で約1万50
00世帯まで対象を拡
大した。資源化方法は
肥料化。委託事業者で
あるエコライフアシス
トの施設で実施してい
るが、処理能力がおお
むね2万世帯までで世
帯拡大の方法が検討さ
れていた。そつした中、
稼働を始めた牧之原バ
イオガス発電所に着



神田章二・横浜支店
長、エコライフアシス
トを運営するチューサ

藤枝市役所内での締結式のもよう(静岡県藤枝市)
イマネジメントの渡
辺和良社長、エコラ
イフアシストの阿井
徹社長などが参加。
協定締結により、
アーキアエナジーは
収集された生ごみの
破袋や前処理となる
スフリー化の技術提
供などを行う。月島
機械は、浄化センタ
ーでのバイオガス利
用の技術提供を行う。
チューサイマネジメ
ントは、生ごみの収集
運搬やスラリー化の実
施について協力する。